

名 称	西知多保護区令和 6 年度統一研修会
実施日	令和 6 年 10 月 8 日 (火)
記 事	本年度 2 回目となる西知多保護区（大府市・東海市・知多市・常滑市）の研修会が知多市メディアス体育館ちた（市民体育館）2 階大会議室で開催されました。 講師には愛知県民文化局人権推進課人権相談員の松山義光様を講師に迎え「人権について」の講演をしていただきました。 昨年度の人権侵犯事件数は 8,962 件で 10 年前と比較すれば半減しているものの、最近 4 年間は横ばいとなっております。多いものは①プライバシー関係 1,544 件、②労働権関係 1,487 件、③学校におけるいじめ 1,185 件、④暴行・虐待 1,115 件、⑤強制・強要 948 件とのこと。 現在も日本国民が抱えている具体的な人権課題は、女性、子ども、障がいのある人、同和問題、性的少数者、外国人、感染障害者等です。そのなかで障がい者は、人口 1000 人当たりでは身体障害者は 34 人、知的障害者は 9 人、精神障害者は 49 人となっており国民のおよそ 9.2% が何らかの障害を有していることとなります。2016 年 4 月に障害者差別解消法が施行（2021 年 6 月改正）されましたが、現状では十分とは言えないと感じます。 研修冒頭に、セクシャルハラスメント、マタニティハラスメント、パワーハラスメントの事例をビデオで見せられ、コミュニケーション不足や説明不足、勘違いなどにより発生することも学びました。私たちは、改めて相手の立場になった配慮などが重要であることを認識しました。 また、愛知県による「人権に関する意識調査（2023 年 3 月）」において「刑を終えて出所した人の人権」を重要な問題と捉える人が、6 年前の調査から 1 ポイント増加し 13.5% となっていることを確認しました。



【講師 松山義光 様】

